

2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月11日

上場会社名 株式会社エッチ・ケー・エス 上場取引所 東
 コード番号 7219 URL <https://www.hks-global.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 水口 大輔
 問合せ先責任者（役職名） 取締役財務部長（氏名） 木本 慎也 (TEL) 0544-29-1111
 半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前期中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	4,216	0.2	112	0.4	171	10.7	132	7.6
2024年8月期中間期	4,209	△5.6	112	△51.6	154	△29.5	122	△16.4

(注) 包括利益 2025年8月期中間期 178百万円(11.7%) 2024年8月期中間期 159百万円(6.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	93.43	—
2024年8月期中間期	86.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	12,854	10,404	80.9
2024年8月期	13,340	10,318	77.3

(参考) 自己資本 2025年8月期中間期 10,404百万円 2024年8月期 10,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,330	3.6	390	△6.7	400	△16.1	300	△13.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年8月期中間期	1,600,000株	2024年8月期	1,600,000株
2025年8月期中間期	185,100株	2024年8月期	185,100株
2025年8月期中間期	1,414,900株	2024年8月期中間期	1,414,900株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気の回復が続き、企業収益も改善傾向となりましたが、物価上昇については、ピークを越えつつあるものの高止まりの傾向にあり、個人消費の伸び悩みが続くなど、不確実性の高い状況となりました。先行きについては、海外経済が緩やかな成長を続けるもとで、緩和的な金融環境などを背景に、所得から支出への前向きの循環メカニズムが徐々に強まり、緩やかな回復が続くと期待されておりますが、足元ではトランプ米大統領が貿易相手国に対し相互関税を課すと発表する等、米国の政策運営をめぐる不確実性が高まりつつあります。

海外経済も、総じてみれば緩やかに回復しました。米国経済は、個人消費を中心に堅調に成長し、欧州経済も、一部に弱さを残しつつ、景気は下げ止まっています。タイを含むASEAN経済も、IT関連材を中心とした輸出の持ち直しで緩やかに改善しましたが、中国経済は、足元は政策による押し上げ効果がみられるものの、不動産市場や労働市場の調整による下押しが続くもとで、改善ペースは鈍化傾向となりました。景気の先行きについては、引き続き緩やかな回復が続くとみられていますが、米国の政策運営をめぐる不確実性が、同国の経済・物価動向のみならず、世界経済にも影響を及ぼしうることにつき、留意する必要があります。

このような状況のもと、当社主力であるアフターマーケット事業におきましては、海外代理店における在庫調整の動きが長引いており、特に米国、中国向けの出荷に停滞がみられたことから、海外販路向けの売上高は減少いたしました。しかし、国内販路向けの売上高が伸びたことにより、連結グループ全体でのアフターマーケット事業の売上高は、前年同期比で増加となりました。

アフターマーケット以外の分野につきましては、製造受託事業の一部にて、委託企業の在庫調整等にもなる受注減の影響を受けたこと等により、前年同期比で減少となりました。以上の結果、当中間連結会計期間における連結売上高は4,216百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

損益面では、相対的に売上総利益率の高い国内販路の売上割合が増加したことや、円安の影響で外貨建て売上高の円換算値が増加したこと等から、連結売上総利益率が40.9%と、前年同期を0.6ポイント上回りましたが、販売費及び一般管理費が、人件費や販売運送費、委託業務手数料等の増加により、前年同期比で26百万円増加したことから、営業利益は112百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

また、経常利益は、為替差益の発生額が前年同期を上回ったこと等から171百万円(前年同期比10.7%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は132百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ486百万円減少し、12,854百万円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べ258百万円減少し、6,654百万円となりました。これは主に、有価証券が300百万円、棚卸資産が156百万円、それぞれ増加しましたが、現金及び預金が324百万円、売掛金が295百万円、その他流動資産が134百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ228百万円減少し、6,199百万円となりました。これは主に、有価証券への振替等により投資有価証券が174百万円減少したこと、および減価償却等により有形固定資産が102百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ572百万円減少し、2,449百万円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べ493百万円減少し、1,591百万円となりました。これは主に、未払金を中心に、その他流動負債が402百万円、電子記録債務が101百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、858百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、10,404百万円となりました。これは主に、配当金の支払91百万円がありました。親会社株主に帰属する中間純利益の計上により、利益剰余金が40百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)残高は、前中間連結会計期間末に比べ2百万円増加し、1,398百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は445百万円(前年同期は64百万円の使用)となりました。これは主に、その他流動負債の減少額225百万円、棚卸資産の増加額143百万円等の資金の減少要因に対し、減価償却費317百万円、売上債権の減少額260百万円および税金等調整前中間純利益の計上額178百万円等の資金の増加要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は357百万円(前年同期は26百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の減少額137百万円、有価証券の償還額100百万円等の収入に対し、有形固定資産の取得額392百万円、有価証券の取得額200百万円等の支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は208百万円(前年同期は87百万円の取得)となりました。これは主に、長期借入金の減少額144百万円、配当金の支払額91百万円等の資金の減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年10月11日の「2024年8月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はございませんが、トランプ米大統領が発表した相互関税が2025年8月期の業績に与える影響につきましては現在精査中であり、今後、業績予想に修正が必要と判断した場合には、速やかに開示をいたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,122,462	1,798,402
電子記録債権	33,821	30,628
売掛金	1,160,566	864,920
契約資産	36,351	76,273
有価証券	300,135	600,154
製品	1,818,139	1,950,277
仕掛品	331,347	359,788
原材料及び貯蔵品	815,524	811,831
その他	301,968	167,505
貸倒引当金	△7,845	△5,599
流動資産合計	6,912,473	6,654,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,720,621	1,688,320
機械装置及び運搬具(純額)	1,201,237	1,164,104
土地	2,066,442	2,077,912
リース資産(純額)	5,089	3,181
建設仮勘定	128,056	74,895
その他(純額)	161,808	172,659
有形固定資産合計	5,283,256	5,181,072
無形固定資産		
その他	109,152	121,976
無形固定資産合計	109,152	121,976
投資その他の資産		
投資有価証券	670,230	495,464
長期貸付金	5,000	5,000
その他	361,511	397,482
貸倒引当金	△1,041	△1,064
投資その他の資産合計	1,035,699	896,882
固定資産合計	6,428,108	6,199,931
資産合計	13,340,581	12,854,113

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	210,971	259,820
電子記録債務	329,605	228,128
短期借入金	348,046	332,184
リース債務	4,122	3,091
未払法人税等	40,464	38,805
賞与引当金	109,376	89,406
製品補償引当金	66,920	66,559
その他	975,535	573,293
流動負債合計	2,085,043	1,591,291
固定負債		
長期借入金	410,824	311,815
リース債務	1,030	—
役員退職慰労引当金	55,800	60,305
退職給付に係る負債	469,568	485,992
固定負債合計	937,223	858,112
負債合計	3,022,266	2,449,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,750	878,750
資本剰余金	993,088	993,088
利益剰余金	8,495,851	8,536,081
自己株式	△351,086	△351,086
株主資本合計	10,016,603	10,056,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,983	115,994
為替換算調整勘定	201,727	231,880
その他の包括利益累計額合計	301,711	347,875
純資産合計	10,318,315	10,404,709
負債純資産合計	13,340,581	12,854,113

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	4,209,749	4,216,647
売上原価	2,512,800	2,493,025
売上総利益	1,696,948	1,723,621
販売費及び一般管理費	1,584,500	1,610,714
営業利益	112,448	112,907
営業外収益		
受取利息	4,519	6,973
受取配当金	3,683	4,566
為替差益	22,697	36,355
貸倒引当金戻入額	—	1,265
スクラップ売却益	5,510	6,383
その他	8,260	5,451
営業外収益合計	44,671	60,996
営業外費用		
支払利息	1,632	1,710
その他	568	629
営業外費用合計	2,200	2,340
経常利益	154,919	171,563
特別利益		
固定資産売却益	15,432	10,393
補助金収入	2,540	—
特別利益合計	17,972	10,393
特別損失		
固定資産売却損	327	—
固定資産除却損	96	3,631
特別損失合計	423	3,631
税金等調整前中間純利益	172,468	178,326
法人税、住民税及び事業税	33,533	33,222
法人税等調整額	5,984	12,904
法人税等合計	39,518	46,127
中間純利益	132,949	132,198
非支配株主に帰属する中間純利益	10,068	—
親会社株主に帰属する中間純利益	122,881	132,198

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	132,949	132,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,714	16,011
為替換算調整勘定	11,042	30,153
その他の包括利益合計	26,757	46,164
中間包括利益	159,707	178,362
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	149,081	178,362
非支配株主に係る中間包括利益	10,625	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	172,468	178,326
減価償却費	320,424	317,681
貸倒引当金の増減額(△は減少)	389	△2,261
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,127	△19,969
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,085	4,505
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,058	16,424
製品補償引当金の増減額(△は減少)	△788	△360
受取利息及び受取配当金	△8,203	△11,540
支払利息	1,632	1,710
為替差損益(△は益)	668	797
固定資産除売却損益(△は益)	△15,008	△6,762
売上債権の増減額(△は増加)	273	260,732
棚卸資産の増減額(△は増加)	△288,481	△143,624
その他の流動資産の増減額(△は増加)	24,235	138,342
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,233	△34,373
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△21,066	△225,397
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,769	△4,332
その他	△11,642	1,024
小計	86,741	470,922
利息及び配当金の受取額	9,290	11,601
利息の支払額	△1,605	△1,845
法人税等の支払額	△158,961	△34,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64,535	445,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	300,000	137,210
有価証券の取得による支出	△100,136	△200,263
有価証券の償還による収入	373,535	100,000
有形固定資産の取得による支出	△407,405	△392,248
有形固定資産の売却による収入	22,702	32,732
無形固定資産の取得による支出	△8,299	△32,768
投資有価証券の取得による支出	△202,479	△2,327
その他	△4,360	△221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,443	△357,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	330,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△127,252	△144,871
リース債務の返済による支出	△2,437	△2,061
配当金の支払額	△112,394	△91,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,916	△208,326
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,813	△3,574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	750	△124,060
現金及び現金同等物の期首残高	1,394,836	1,522,462
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,395,587	1,398,402

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

当社グループの報告セグメントは、「自動車等の関連部品事業」のみであり、「その他の事業」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

当社グループの報告セグメントは、「自動車等の関連部品事業」のみであり、「その他の事業」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。